盟

年と変わらない年間測定回数と

策課資料より)となり、

 $\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 1 \\ 4 \end{array}$ 

数 は 1,

079件となりました。

さらに、

5月に硫黄島で実施さ

に参加

が

1 9,

9 2 5

回

(大和市基地対

なり、

基地周辺自治体での合計:

#### 爆同第56回定期総会

日時 5月7日生 午後1時30分

会場 大和市生涯学習センタ・



1。活動を振り返って

201 -5年度 活動総括

の飛来監視と抗議行動や、 V22オスプレイ(以下・オスプレイ) る行動をはじめ、 動は、厚木基地の爆音を解消させ 称・厚木爆同)の2015年度(2 行動に会員の力を結集して取り組 は米海兵隊の垂直離着陸輸送機M 訴訟の勝利にむけた行動、 0 1 5 一地司令官に対して、 :関東防衛局長並びに米海軍厚木 厚木基地爆音防止期成同盟 4 2 0 1 6. 第四次厚木爆音 抗議と要請 3 さらに 防衛省 の活 略

っての 問支部会議に取り組むとともに、 支部を訪問して意見交換を行う を組織運営に活かすため、 方、 取り組みとしては、 厚木爆同の組織強化にむ 会員の 三役 います

会員の拡大行動や厚木基地情勢、 NHK受信料問題などの学習会を 第四次厚木爆音訴訟東京高裁判決、

開催してきました。

私たち基地周辺住民への影響や爆 座を開催してきました。 などについて、会員の意識をさら き進もうとしていることにより、 に高めるため昨年度に続き平和 音被害の背後にある安全保障問 念を破棄して戦争をする国へと突 また、 安倍政権が憲法9条の理

するホームページの充実などに にむけ総務省と防衛省への要請行 の視察や、NHK受信料の全額助 ý組んできた一年でありました。 さらには、航空自衛隊百里基 厚木爆同の活動と情報を発

### ①厚木基地をめぐる状況

訓練や外来機の飛来が活発化して の強化がはかられ、艦載機による はじめに、 厚木基地は基地機

【発行】

厚木基地爆音防止期成同盟

発行責任者 大波修

事務所 大和市桜森 3-5-3 フォント 1F TEL 046-240-7450 FAX 046-261-5615 bakudou@kanagawa.email.ne.jp

ますのでよろしくお願いします。 の総括と新活動方針を決定し、厚木爆同の団結と新たな前進を誓う場にしたいと思い (本会報に総括と活動方針を掲載いたしますが、議案の一部は総会当日に配布します。) 🌣 「センターで開催します。 厚木爆同第56回定期代議員総会を5月7日 総会では、 代議員の皆様の活発な討論により、  $\widehat{\pm}$ 午後1時30分より、 大和市生涯学 この1年間

習

(70デシベル以上、 1キロ地点における航空機騒音 このことは、厚木基地滑走路北 の2015年の騒音測定回数 5秒以上の継続

> に激しい訓練が行われたかがわか ります。 を浴びせられたことになり、 記録は、まさに90秒に一回、 に22回を記録し、 は午前8時から午後10時までの間 を記録するとともに、4月28日に 月間騒音測定回数が2, 路北1キロ地点での航空機騒音の 爆音をまき散らし、厚木基地滑走 訓練) また、 1時からの1時間に40回もの爆音 たタッチ・アンド・ゴー では、 厚木基地で4月に実施され 昼夜を問わず激甚な その中でも午後 6 9 7 回 (離着陸

情件数は、 住 民から自治体に寄せられた苦 大和市だけでも16件と

なっていることからも明らかです。 いか 爆音 した。 備しました。 ジ・ワシントンを原子力空母ロナ の限度を超える爆音に悩まされ れたFCLP(離着陸訓練) 母港としている原子力空母ジョー ことにより、 した艦載機が厚木基地に帰還する 1日に強行入港し横須賀基地に ド・レーガンと交代させ、 つぎに、 米海軍は横須賀基地 基地周辺住民は受忍

10 月

います。 ら約25年が経過したことにより、 母ジョージ・ワシントンが就役 核燃料を交換するためと言わ 原子力空母の交代は、 原子力空

また、現在配備されている空母 代えて、 配備するとしています。 との連絡機C2A輸送機に オスプレイ2機

される許し難い問題です。 とっては大きな危険にさら ŋ 基 このことは、 地に常駐することにな が高いオスプレイが厚木 私たち基地周辺住民に 墜落の危険

を行うとして厚木基地に飛 習場と北富士演習場で訓練 が、陸上自衛隊の東富士演 地に配備されたオスプレイ 来を繰り返しました。 つぎに、 沖縄県普天間基

ンプ富士(静岡県御殿場市) する場合は、 場と北富士演習場で訓練を オスプレイが東富士演習 飛来することを日米両政 米海兵隊キャ



住宅密集地の上空で危険な編隊飛行を繰り返し、 爆音をまき散らす米軍艦載機

府で合意しています。

飛来ではなく厚木基地に飛来すること しかし、米海兵隊キャンプ富士への 本土での拠点基地にするためと考

リンズへの着艦に失敗する事故を起こ 失敗して炎上する事故を起こし2名の く、5月17日には米ハワイ州オアフ島 レイの墜落事故は無くなることがな 飛行認証訓練中に輸送揚陸艦ニューオ カリフォルニア州サンディエゴ沖合で 死者を出すとともに、12月10日には米 のベローズ空軍基地で訓練中に着陸に しています。 また、欠陥機と言われているオスプ 不安を与えました。

くものですが、あがっていることから だん高くなってきています。本来事故 も大変危険な輸送機であることがわか 飛行10万時間あたり3. このようにオスプレイの事故率は、 飛行時間数とともに下がってい 69件とだん

キャンプ富士周辺上空での訓練中に、 な事故を起こしました。 小銃の空包3発を落下させる大変危険 静岡県小山町の中学校テニスコートに リコプターが、7月21日米海兵隊 つぎに、米陸軍の特殊部隊のMH60

ターであるとともに、この訓練に陸上 が明らかになりました。 自衛隊の中央即応集団司令部 に米艦船に激突して墜落したヘリコプ 殊部隊のMH60ヘリコプターは、8月 プ座間)の自衛官も同乗していたこと この落下事故を起こした米陸軍の特 日に沖縄県のうるま沖で特殊訓練中 (キャン

段に厚木基地の住宅密集地上空で訓練 コプターは、空包落下事故を起こす前 を行っていたことも明らかになりまし さらに、その特殊部隊のMH60ヘリ

頻繁に飛来して危険な訓練を行ってい 外来機が 備撤回を申し入れてきました。 そのP-1 哨戒機は、

このように厚木基地には、

るのです。 地に配備されている海上自衛隊のLC 99輸送機とC30R輸送機、P-1哨戒機 陸など、基地周辺住民に大きな恐怖と するとともに、燃料漏れによる緊急着 による部品落下、部品紛失事故が多発 つぎに、自衛隊については、厚木基 とともに、P-1哨戒機の機体を公開し したことを6月25日報道陣に報告する 計画通り厚木基地に10機の配備が完了 このP-1哨戒機は、自衛隊の配備

1 2015年4月15日 部品落下、部品紛失事故 L C 90

ました。

2

2015年6月1日

C 130 R 輸

3 2015年7月27日 LC9翰 部品落下、部品紛失事故

送機 4 2015年8月4日 Cl3R輪 緊急着陸、燃料漏れ事故 部品紛失事故

6 機 (5) 2015年11月27日 P-1哨戒 2016年3月31日 P-1哨戒 部品落下、部品紛失事故 部品落下、エンジン破損事故

とともに、防衛省が地元自治体に自衛 た。 場の海上自衛隊による共同使用につい 機を2014年3月に強行配備しまし を反古にして、 て」の大和市への通知(通称・46文書) 隊のジェット機を配備しないとした横 浜防衛施設局長による「厚木海軍飛行 P-1哨戒機配備反対の声を無視する つぎに、自衛隊は、基地周辺住民の 厚木基地にP-1哨戒

を抱えた航空機であることから、厚木 多くの不具合が発生してきたととも 爆同はP-1哨戒機の厚木基地 事故や飛行中にすべてのエンジンが停 止する事故など、安全性に大きな問題 このP-1哨戒機は、開発段階から 試験飛行中にも機体に亀裂が入る 0)

> 通りに11月27日飛行中にエンジンの破 航空機であることが立証されました。 起こしたことから安全性に問題のある 損を起こし、部品を落下させる事故を 私たちの指摘

増加と騒音の増大に悩まされることに れたことであり、 なります。 このことは、P-1哨戒機が戦力化さ 基地周辺では飛行の

出店するとともに、国産のP-1哨戒 出規制が緩められたこと(防衛装備移 兵器展示会が横浜で開催され自衛隊が 転三原則)により、国内初の大規模な また、安倍政権のもとで、武器の輸

輸出に踏み出してきています。 に参加させ展示飛行を行うなど、 機をイギリスで開催された航空ショー 武器

#### ②さまざまな活動に取り組む ①激しい爆音に抗議とFCLP訓練

返され、凄まじい爆音により深刻な被 士が接触して墜落するのではないかと ともに、基地周辺の上空では艦載機に よる編隊飛行が相次ぎ、今にも機体同 よる離着陸が厚木基地で間断なく繰り 害を受け不満と怒りが増大していると いう大きな不安と恐怖を受けてきまし 米空母の横須賀入港以来、 艦載機に

を即時中止するよう強く申し入れると 厚木基地におけるタッチ・アンド・ゴー 1日に防衛省南関東防衛局長に対し、 このような状況に厚木爆同は、5月

要請しました。 ら15日まで実施するとした通 基地へ帰還させないよう強く 告のFCLP訓練について ともに、硫黄島で5月5日か 午後10時以降は艦載機を厚木 は、すべて硫黄島で実施させ、

この間、南関東防衛局に対し 防衛局が厚木基地周辺住民の 題については、防衛省南関東 窓口となっていることから、 できました。 て要請や抗議行動に取り組ん また、厚木基地に関わる問

東防衛局への町田市関連の要 省北関東防衛局が地域住民の 窓口となっているため、南関 がある東京都町田市は、防衛 や抗災 しかし、厚木爆同町田支部 議内容が反映され

> 衛省北関東防衛局を訪ね、 ないことがわかりました。 を開いてきました。 さいたま市の新都心合同庁舎にある防 8月31日に町田支部の皆さんと埼玉県 むけての要請行動を行うとともに窓口 やオスプレイ飛来問題などについて、 そこで、 厚木基地の航空機騒音問 課題解決に

# ②オスプレイの飛来監視と抗議

でした。 2機、③9月26日岩国基地から4 地から2機、②9月14日三沢基地から 2回であり、 通告通りに飛来したのは8月と3月 変更や天候を理由に実際に厚木基地に にわたって通告してきたが、飛来地 無通告による飛来 (①9月10日岩国基 6月、7月、9月、10月、3月と6 飛来する可能性があるとして、5月、 防衛省は、オスプレイが厚木基地に それ以外の飛来はすべて

に何回も静岡県の東富士演習場へ訓練 るなど、基地周辺住民の感情を逆なで 返し行いました。 練やタッチ・アンド・ゴー訓練を繰り 地の住宅密集地上空において、 して2週間にわたり厚木基地に駐機す する横暴な態度が目立ってきました。 さらに、オスプレイは、 また、8月には飛来通告期間を延長 行くとともに、8月27日には厚木基 旋回

した違反行為であります。 同委員会で合意しているルールを無視 このような行動は、明らかに日米合

抗議集会を行いました。 北側滑走路フェンス前で、 側のふれあいの森草柳広場や厚木基地 団と共同行動に取り組み、厚木基地北 厚木爆同は第四次厚木爆音訴訟原告

スプレイの配備撤回と日本からの撤去 厚木爆同は沖縄県普天間基地への



(3)

このような中、

オスプレイの訓練

管のない静かな空を取りもどすた



を求め、 第四次厚木爆音訴訟原告団や 原子力空母

地への飛来を中止するよう申し入れま の飛来通告に抗議するとともに厚木基 官への要請・抗議行動で、 の母港化に反対し基地のない神奈川を 東防衛局長並びに米海軍厚木基地司令 11日と12月5日に米海軍厚木基地司令 めざす県央共闘会議と連帯して、9月 神奈川平和運動センター、 5月1日と10月7日に防衛省南関 オスプレイ ことから、 め厚木爆同は、厚木基地周辺の自治体 木爆同は連絡会の役員に就任しまし 首長と市議会議長に対し、

むけるヘリモード)による飛行を行わ ないことを決めている日米合意にも違 の垂直離着陸モード(回転翼を真上に 木基地に飛来していると言えます。 実に本土における訓練の拠点として厚 ないことが明らかになりました。 厚木基地への飛来時には、基地外で オスプレイは、 しており、安全な飛行が遵守され 沖縄の負担軽減を口

藤沢市、

相模原市の市長と議長に要請

行動を展開しました。

③第四次厚木爆音訴訟勝利にむけと

を皮切りに、綾瀬市、座間市、海老名市、

や見解を日本政府に求める行動を起こ イの飛来や配備をめぐるデータの公表

この東日本連絡会の行動を支えるた

ーオスプレ

すよう」要請する行動の責任団体とし

11月5日の大和市長と市議会議長

反対する東日本連絡会」を結成し、 昨年1月に「オスプレイと飛行訓練に 体に対する要請行動を強化するため、 立ち上げ、情報の共有化と国及び自治 行が全国展開の様相を見せ始めている 東日本エリアで連絡組織を 厚

高熱の排気ガスを吹き出し着陸するオスプレイ (上) オスプレイの厚木基地飛来に抗議する爆同の仲間 (下)

した。

後10時から翌日午前6時) の増額を認めるとともに、

止めが、自衛隊機のみではあるものの、

裁判所にお 月を経て、7月30日に東京高等 地裁に提訴以来7年7か月の歳 ともに行動してきました。 第四次厚木爆音訴訟は、 いて判決が出されま 横浜

認められたことは画期的な判決 損害賠償の将来請求についても 行差し止めを命じるとともに、 付きですが、自衛隊機の夜間 は違法であるとして損害賠償額 基地周辺住民に対する爆音被害 方裁判所の判決を踏襲し、 判決内容は、第一審の横浜地 の飛 期間 厚木 午 と 却されました。

が取り組まれています。

闘いをはじめ、

さまざまな反基地運動

は、

沖縄に次ぐ第2の基地県神奈川

横須賀の原子力空母母港化反対の

④諸行動に積極的参加

私たちの悲願である飛行差し

今回の判決は大きな

会議」の役員団体として、

諸会議や政

府交渉、辺野古への新基地建設反対闘

各

される「全国基地爆音訴訟原告団連絡

. 第四次厚木爆音訴訟を支え、

裁判闘争の積み上げによる勝利です。 四次にわたる原告団による、 がないとの判断から差し止め請求は 日本が米軍の活動を制限する法的根拠 このことは、厚木爆同とこれまでの しかし、 米軍機の飛行については、

られています。 服として8月12日に上告、このように 害賠償の将来請求が認められたこと 裁判所に上告、一方被告・国側は、 双方が上告し最高裁判所で審理が進め 飛行差し止めを求め、8月11日に最高 音訴訟原告団は、退けられた米軍機の この判決を不服として第四次厚木爆 自衛隊機の夜間飛行差し止めを不 , 損

これまでの基地爆音訴訟で差し止めの一訴訟を闘っている7つの原告団で構成 また、厚木爆同は、

× 県央共闘

東京高裁の法廷に向かう第四次厚木訴訟原告団 (上) 「自衛隊機差止め」「賠償勝訴」の垂れ幕を掲げる弁護団

厚い壁を打ち破ることが出来なかった 勝利です。 ことを考えれば、

40年間の

訴訟団の勝利にむけ行動してきまし 争の支援などにも積極的に参加し、

全国で基地爆音

可

などをはじめ第四次厚木爆音訴訟原告 地のない神奈川をめざす県央共闘会議

全国基地爆音訴訟原告団連絡会議

ターや原子力空母の母港化に反対し基

厚木爆同は、神奈川平和運動

などの政府交渉や各種集会、

抗議行動

広告運動、護憲大会、原水爆禁止大会、 などに連携して取り組んできました。 た。 動などの活動にも取り組んできまし スティバル、米軍ジェット機墜落事故 る共同行動委員会、安保法制 平和行進、 ン配備撤回集会や憲法を守る新聞意見 抗議集会、舘野鉄工所墜落事故慰霊行 案)反対行動、脱原発行動、ピースフェ また、原子力空母ロナルド・レーガ 県民のいのちとくらしを守 (戦争法

(下)

### ①会員拡大の取り組み

活動が強化されます。 である爆音のない静かな空を取り戻す し結集することにより、 多くの人々が厚木爆同の趣旨に賛同 私たちの願い

ることができました。 は57世帯の新会員を迎える成果をあげ 地域の会員の協力により、 会員の拡大は、支部役員をはじめ、 2015年

●● 訪問員との対応 ●●

望が出されました。 爆音解消にむけての積極的な意見や要 活動などについて学習を深めるとと 新会員の皆さんを囲んでの歓迎会で 最近の厚木基地の情勢や厚木爆同 新会員と役員との意見交換では

## ②訪問支部会議の取り組み

取り組みました。 会員の声を反映した組織運営をめざ 今年度も「訪問支部会議」 に

役と組織部長など) いる課題や支部活動の活性化にむけて からの活動に活かしていく取り組み この訪問支部会議は、本部役員 (11支部)を訪問し、支部が抱えて が厚木爆同の全支 出された声をこ  $\widehat{\Xi}$ が、

示 従来のトップダウン による組織運営だけではなく、 (本部からの指 ボ

みました。 入れた組織運営をめざすために取り組 トムアップ (会員の声を反映) を組み

参加出来るようにと、 2支部からスタートして、約2ヶ月を 夫をした支部もありました。 まな意見と要望をいただきました。 の支部を訪問し多くの会員からさまざ 域とは違うところで開催するなどの工 かけ9月19日の海老名支部で、 支部によっては、より多くの会員が 訪問支部会議は、 7月5日の大和北 昨年開催した地 すべて

# ③NHK受信料全額助成の取り組み

NHK受信料を爆音の加害者である国 料制度を否定するものではありません が受けられないため、 がかき消され、まともな放送サービス 厚木爆同は、 航空機の爆音によってテレビの音 法に基づくNHK受信 爆音被害地域の

> め が全額肩代わり する運動に取り組んでいます 受信料の支払いを凍結 (助成) することを求 (不払 *(*, *i*)

が示され、会員間に疑問や不安の声が を払わなければならない」などの判決 置したものは契約の義務があり受信料 催しました。 K受信料問題の学習会を11月28日に開 高まったため、 しかし、最近の裁判で「受信機を設 会員を対象としたNH

改善に努めるとの回答を引き出しまし などを強く求めたところNHKとして 長に要請書を提出し、 多発していることから、 HK放送局かながわ西営業センター所 での訪問が増加し会員とのトラブルが 一方、 訪問員による恐喝めいた態度 トラブル防止策 10 月 21 日 に N

額助成にむけ、 また、 成を求める要請 総務省と防衛省に対し要請行動 K受信料の全額免除及び全額助 厚木爆同はNHK受信料の全 「厚木基地周辺のNH を8月31日に

厚木爆同の組織強化について熱心に議論した支部訪問会議 NHK放送受信料の全額助成にむけ全爆同会員に配布 ラブルに巻き込まれないために を行いました。 レット」を作成し全会員に配布 しました。 NHK受信料問題の さらに、会員が訪問員とのト パンフ

#### 4基地視察の取り組み 今年度の「基地視察」

は、

10

&/

渡しながら基地機能の説明を受 城空港デッキから百里基地を見 地反対同盟の梅沢さんの案内 里基地を茨城県平和擁護県民会 議事務局長の相楽さんと百里基 (4日に茨城県の航空自衛隊百 るとともに、 百里基地全体を見渡せる茨 基地反対運動と

を破棄して戦争をする国へと進もうと

また、安倍政権は、

憲法9条の理念

けました。 を参加者40名で訪ね、 して取り組まれている一坪運動の土地 現地で説明を受

した。 視察であったとの声を多くいただきま 参加者からは、

# ⑤学習会と平和講座の取り組み

して行いました。 いた「NHK受信料問題」をテーマと 抱える私たちにとっての闘いである 第四次厚木爆音訴訟の東京高裁判決」 今年度の「学習会」は、厚木基地を 訪問支部会議で多くの声をいただ

の解禁など戦争準備へと突き進んでい るとともに、 しています。 安保法制 防衛費の増額や武器輸出 (戦争法案) を強行採決す



(上) 百里基地反対同盟と交流を深めた基地視察ツア 厚木基地を取り巻く状況を学んだ爆同平和講座

ます。

大変多くを学ぶ基地

より、 空機飛行の増加に伴う墜落事故などに 民は、さらなる航空機爆音の増大や航 になります。 このことにより、 そこで、今年度も「平和講座」 大きな不安や被害を受けること 私たち基地周辺 を 2

回にわたり開催しました。

ました。 負担)について、 リラン・ り予算」 らアメリカ軍に支払っている 厳しい状況においても、 第1回は1月24日に、 「ザ・思いやり」を鑑賞し、 (在日米軍駐留経費の クレーさんからお話を聞 ドキュメンタリー映 国民の税金か 日本の経 思 日本 監督 いや 0

は、 H はじめ全国に所在する在日米軍の基 第2回目の2月21日は、 本の基地が戦争への出撃基地や後方 世界の紛争地域と繋がっており、 厚木基地を (5)

みました。

とや私たちの頭上をわがもの顔で飛ん た。 と厚木基地」についてお話を聞きまし の頼 和太郎さんから でもあることなどをリムピース編集長 でいる米軍機は、 支援基地としての役割を担っているこ 戦争にむけての訓練 「在日米軍の実態

# ホームページ充実の取り組み

況や最新情報をスピーディーに入手で ただくようになりました。 きるようにして欲しいとの声を多くい これらの声を受けて、 会員の皆さんから厚木爆同の活動状 厚木爆同の活

ムページの内容充実に取り組んで来ま が会員の皆さんに伝わるようにホー

最近では、 朩 ムページを見て、

は、

会希望をホームペー が多くなりました。 ジメー ル から 0) 方

最後に、

行動企画委員会は4回

開

や関連資料などが掲載されています。 報道のリンク、会報のバックナンバー と、活動報告、厚木基地に関する新聞 ◆厚木爆同のホームページアドレス ホームページには、当面の活動予定 http://www.atsugibakudou.com

# 3.専門部と委員会などの活動

て活動に取り組んでいます。 行動企画委員会、推薦議員団を設置し 組織部会、③情宣部会、④調査部会)と ために4つの専門部 厚木爆同には、組織を運営していく 今年度、積極的に活動を展開したの (①総務部会、②

総務部会、 組織部会、情宣部会、 行動企画委員会でし

やNHK受信料問題の 取り組みました。 パンフレットの作成に けての国への要請行動 受信料の全額助成にむ は 4 回 開催 し、 N H K はじめに、 総務部会

成などに取り組みまし めるとともにホー ページの充実に取り 容充実と定期発行に努 4回開催し、 つぎに、 情宣部会は 会報の内

せ、

納対策としての要項作 はかるとともに会費未 3回開催し、

会員拡大

つぎに、組織部会は

にむけての意思統一を

厚木爆音訴訟にむけての意見交換など に取り組みました。 201

#### 6年度 活動方針 案

米軍機の飛行差止めを訴える

住民の不安の声を無視し、厚木基地に飛来したオスプレイ

オスプレイの飛来に反対し、

### 1.運動の基調

現在、 り戻す闘いを展開しなければなりませ 強化、 ない、それを何とかして本格的な戦争 た。日本国憲法には平和主義の精神が です。 ら厚木基地は明らかに基地拡大と基地 したいのです。明文改憲が実行された ができる国にしたいと言う野望を実現 を処罰する軍法もなければ軍法会議も 残っており自衛隊員が命令にそむくの なく明文改憲に向けて歩み始めまし いることを知り、 行使が憲法によって大きく制限されて た安倍政権はそれだけでは本当の武力 釈改憲して戦争法 集団的自衛権行使を中心に憲法を解 これからも平和で静かな空を取 更には軍事訓練の拡大は明らか 基地負担で人権が奪われている 改めて解釈改憲では (**案**) を強行可決し

だとする発言が米国本土で行われてい 小の闘 における平和勢力の拡大による軍備縮 生活を創り上げるのに何としても全国 能性を高めていきます。 きは東北アジアにおける緊張を激化さ 日米軍基地に核兵器を常時配備すべき ます。この日米再編・軍事一体化の動 最近の基地運用の危険な動きでは在 厚木基地に敵のミサイル攻撃の可 いを前進させなければなりませ 平和で安全な 高める運動を強化します。



を掲げ運動を進めていきます。 の闘いです。この一年、 な空を取り戻す」闘いは、 ③厚木爆同が母体となって組織し闘っ 民の共通する願いであり全国の反基地 同が取り組んでいる「爆音のない平和 ④組織の整備を図り、 ①平和憲法の改悪を断じて許さず広範 ん。こうした状況の中、 ②爆音を無くし基地撤去を目指す主体 的な運動を創り上げていきます。 な反基地、平和運動に取り組みます。 をあげて支援していきます。 判所で審理が展開されています。 ている第四次厚木爆音訴訟は最高裁 かで平和な空を勝ち取るため、 会員の連帯感を 次の基本目標 私たち厚木爆 基地周辺住 組織

## 2。 具体的な活動

①航空機の墜落防止・航空機部品落下 物に対する取り組み

ていないのが実態です。 が解明されるまでの飛行禁止さえ取っ 識が薄く、 において、航空機の墜落に重大さの認 ます。航空機事故に対する米軍の対応 部品落下はここ数年頻繁に発生してい 厚木基地を離発着する航空機から 同型機においても事故原因

航空機事故の大災害は以下のような 30件もの「ヒヤリ・ハッ 29件の「比較的軽 度

静



災害が起こり、 その内訳は、「大災害が1件あったら、 法則に準じています。「大災害」につ その背後には、 いて現れた数値は「1.29:30」である。 した (危うく大惨事になる)

とが大事故を発生させないことに繋が 外務省)を追及していきます るまで、粘り強く関係機関(防衛省・ も完全な再発防止策を内外に公表させ ない体制を組んで、部品落下において を忘れることなく、航空機事故を許さ ります。私たちは航空機事故の悲惨さ が存在しておりそれを完全に無くすこ 件もの「不安全行動」と「不安全状態」 ·起きていたことになる。更に、幾千

# ②オスプレイ飛来阻止の闘い

エンジンに新たな装備を取り付けるよ 米軍当局も要約、 生)の事故率が多く完全に欠陥機です。 ラスA(損害額20万ドル以上死亡者発 配備でも5回の墜落で合計40名以上の スプレイは開発段階で4回墜落、実戦 地化を図ろうとしています。 昨年5月 り、本土におけるオスプレイの拠点基 や夜間飛行訓練を繰り返して行ってお 旋回するなどして、タッチアンドゴー 基地周辺の住宅密集地上空を繰り返し 厚木基地で機体の整備や補給、更には 来、東・北富士演習場での訓練と称し、 2014年7月に厚木基地に初飛来以 うに勧告しています。 死者を出しています。事故の内容もク にハワイで着陸に失敗したMV-22オ 米軍垂直離着陸輸送機オスプレイは パイロットミスから

することは認めることはできません。 あらためてMV-22オスプレイは非常 理する方針であると説明しています。 自で購入予定のMV-22は木更津で修 CV-22オスプレイを配備、更には陸 に危険な航空機であり厚木基地に飛来 2017年からは横田基地に同型の

#### ③航空機爆音の解消と基地機能の縮小 、の取り組み

機の修理機能が完備され、更には夜間 母港化がなくなり、岩国に完全な航空 はありません。横須賀基地に「空母の ます。しかし、完全に静かになる保証 の怒りをひとまず和らげようとしてい なるような言い方をして基地周辺住民 駐させることは、あたかも全く静かに の訓練施設が岩国の遠くないところに 基地に舞い戻ってくるのではと言う懸 設定されない限り」艦載機は必ず厚木 設置され、戦闘機の訓練空域が新たに 防衛省は空母艦載機52機を岩国へ移

基地撤去の闘いに取り組みます。 は全国の反基地闘争の仲間と連帯して な交渉を計画していきます。厚木爆同 えるために防衛省を中心として定期的 航空機爆音等基地周辺の声を国に伝

### ④自治体との連携強化

派遣しています。これからも自治体と 基地対策協議会に厚木爆同から代表を 判を勝利することができました。自治 治体からの様々な形での援助は裁 り組んで行きます。 進めることが大切です。現在は大和市 体は地域の市民を代表する有力な団体 判闘争を我々住民の側を有利にし、裁 ですので反基地、反爆音の闘いを共に 緒になって反爆音の運動の強化に取 第四次厚木爆音訴訟の闘いの中で自

# ⑤厚木基地爆音訴訟への支援を強化

在しないと判断し、「米軍機は日本の の航空機飛行の夜間差し止め(22時か 将来請求、更には軍事基地では初めて ら翌朝6時まで)を認めました。しか 支配の及ばない第三者であって裁判に 東京高裁判決は損害賠償請求、及び 米軍の航空機に対して行政処分は存

力で取り組みます。具体的には第四次 害するものであり、断じて認めること されましたが、行政機関は被害を救済 基地爆音訴訟の闘いで、違法判決は下 よる差し止めを請求することはできな 訴訟については第四次訴訟団、弁護団 訴訟団・弁護団と綿密な情報連絡を強 ける航空機の全面差し止めの闘いに全 はできません。よって最高裁判所にお 法で保障された基本的人権を著しく侵 せず放置してきました。このことは憲 れました。しかし、40年間にわたって めて訴訟対応をしていきます。第五次 い」とする第三者行為論により斥けら

と連携を取って進めて参ります。

## ⑥県下の関連団体と連帯

き続き支持協力関係を強めていきま 空母の母港化に反対し基地のない神 奈川をめざす県央共闘会議とは、引 神奈川平和運動センター、原子力

③全国基地爆音訴訟原告団連絡会議と 基地分科会を通して連帯を密にして いきます。 行動委員会(略称・いのくら)とは、

④フォーラム平和・人権・環境には積 り連帯して改憲阻止の運動を強めま 極的に参加して行きます。現政権に よる憲法改悪の動きが進んできてお

と連帯を深めてまいります。

は、これまでと同様に全国の訴訟団

⑥自治体の平和推進事業については積 ⑤オスプレイと飛行訓練に反対する東 日本連絡会とはともに行動し連帯を 極的に参加して行きます。

> 応していきます。 と一致するかを総合的に判断して対

#### 汀組織内における取組み ①組織強化にむけて

話し合いを持ち支部活動の活性化(活 役が直接各支部に行って支部会員と に取り組みます。 や会員拡大の運動の設定 動家の掘り起しと支部会議の開催) 会員拡大に取り組みます。本部三 支部組織の活性化をめざした会員 (目標値)

的な支部会議が開催できるように本 部と協力して行きます。 交流会などの取り組みとして、定期

## ②宣伝活動強化の取り組み

度も基地周辺住民に対する宣伝活動 ことは極めて重要なことです。今年 の課題で宣伝活動を強める行動を展 基地周辺住民に対して、その時々 市民に正しい情報を知らせる

# ③NHK放送受信料全額助成の取り組

2

県民のいのちと暮らしを守る共同

定例要請行動に取り組みます。また 解に努めます。 自治体や国への要請行動を行います。 とNHKかながわ西営業センターへ 会員に対しては厚木爆同の方針の理 NHK受信料の全額助成の取り組み

#### 習会等を設定します。 ④組織体制の強化を目指して独自の学

話をかける活動に力を入れて行きま

爆音のうるさいときの抗議と苦情電

き平和講座を計画します。 を進めますが当面は昨年度に引き続 厚木爆同学校の開催に向けて研究

の目 的 る基地等を視察して見分を広め会員 厚木基地と同じような市街地にあ

⑦その他の団体とは、厚木爆同

の意識を高めていきます。

#### ⑤厚木爆同運動強化に向けてのインフ ラの整備を進めます。

り組みます。(電子機器の研究・爆音 害阻止に向けてインフラの整備に取 に関する関連機器購入・資料の収集・ 厚木爆同が反戦・反基地・爆音被

# (8)専門部活動の活性化の取り組み

性化に努めて行きます。 めに其々の専門部を強化して組織の活 厚木爆同が反基地活動を強化するた

厚木爆同の支部活動の規定の 新設に取り組み、 整理します 活動記録を

組織部 支部会議の開催と班体制 備を本年の重点課題としま

情宣部 を強めます。 定例の情宣部会の開催と定期 けの解りやすいチラシ等を発 的な会報発行と、 行して市民に対する働きかけ 一般市民向

#### 調査部 (厚木爆同推薦議員団

び自治体における情報の集約 や調査活動に取り組みます。 定期的な会議の開催と国およ

#### 行動企画委員会

検討を加えていく体制を進め 新たな活動等に対して十分な

### (9)財政確立への取り組み

を進めます。 集金体制の健全化に対する取り組み

把握に努めます 会員数の把握とともに未収金状況の